

STIHL BR 200

STIHL



2 - 17 取扱説明書



目次

1	はじめに.....	2
2	使用上の注意および作業方法.....	2
3	運転準備.....	6
4	スロットルケーブルの調整.....	7
5	ハーネスの取付け.....	8
6	燃料.....	8
7	給油.....	9
8	始動前の注意事項.....	10
9	エンジンの始動と停止.....	10
10	作業中の注意事項.....	12
11	エアフィルターの掃除.....	12
12	キャブレターの調整.....	12
13	触媒コンバータ.....	13
14	スパークプラグ.....	13
15	エンジンの動作.....	13
16	機械の保管.....	13
17	整備表.....	14
18	磨耗の低減と損傷の回避.....	14
19	主要構成部品.....	15
20	技術仕様.....	16
21	整備と修理.....	16
22	廃棄.....	16
23	EC 適合証明書.....	17

お客様各位

この度は STIHL 社の製品をお買上げいただきまして誠に有難うございます。

この製品は、最新の製造技術と入念な品質保証処置を施して製造されました。私共は、お客様がこの製品を支障なく使用され、その性能に満足していただくために最善の努力を尽くす所存であります。

本製品に関してご不明な点がありましたら、お買上げの販売店または当社カスタマーサービスにお問い合わせください。

敬具



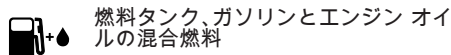
Dr. Nikolas Stihl

1 はじめに

1.1 シンボルマークについて

機械に表示されているシンボルマークの意味は、本取扱説明書に説明されています。

対象の機種によっては、以下のシンボルマークが機械に表示されている場合があります。



手動燃料パージャーパープの操作

1.2 段落の前に付いたシンボルや数字



警告

人に及ぼす事故やケガ、更に重大な物的損傷に対する警告。

注記

本機本体あるいは構成部位の損傷に対する警告。

1.3 技術改良

当社の信条として、常に自社製品の改良を心がけております。この理由から、製品の設計、技術、外観が定期的に改良される場合があります。

このため、変更、修正、改良の種類によっては、本取扱説明書に記載されていない場合があります。

2 使用上の注意および作業方法



パワーツールを使用するときは、特別な安全上の注意事項を遵守する必要があります。



初めて使用するときは取扱説明書をよく読んで理解し、必要ときに参照できるように安全な場所に保管してください。取扱説明書を遵守しないと、重傷または致命傷さえも負うことがあります。

現地で適用される安全規制(業界団体、社会保険機関、労働安全局等が定める規定)にすべて従ってください。

本機を初めて使用する場合: STIHL サービス店または他の経験豊富なユーザーに機械の安全な操作法を教わるか、専門的な研修に参加してください。

未成年者には絶対に本機を使用させないでください - ただし、監督下で訓練を受けた 16 歳以上の若者は例外です。

子供、動物、見物人を機械に近付けないでください。

機械を使用しないときは、他人に危険が及ばない場所に置いてください。無断で使用されないよう、機械を固定してください。

第三者の事故/負傷またはその所有物の損壊を防止することは、使用者の責任です。

機械は、当該機種とその操作を熟知している人以外には譲渡したり、貸与したりしないでください。機械には、必ず取扱説明書を付けてください。

騒音を発する機械の使用が、国や地域の規則によって特定の時間帯に制限されている場合があります。

構成部品のいずれかが損傷している場合、機械を使用しないでください。

本パワーツールの清掃に高圧洗浄機を使用しないでください。強力な水の噴流が、本機の部品を損傷するおそれがあります。

2.1 アクセサリーおよび交換部品

STIHL 社が本パワーツールに使用することを明確に承認したか、同等の仕様に基いた部品とアクセサリーだけを使用してください。ご不明な点は、サービス店にお問い合わせください。高品質のツールとアクセサリーだけを御使用ください。事故と本機の損傷を防ぐためには、それが不可欠です。

STIHL 社では、STIHL 純正の交換部品とアクセサリーの使用をお勧めしています。そうした純正部品は製品に適合し、お客様の性能要件を満たすように特別に設計されています。

いかなる方法であれ、絶対に本パワーツールを改造しないでください。負傷する危険性が高まるおそれがあります。STIHL 社は、承認されていないアタッチメントを使用した際のケガや物的損害に対して一切法的責任を負いません。

2.2 身体的条件

パワーツールを操作する人は、十分に休息を取り、身体的、精神的に健康でなければなりません。

激しい労働に耐えられない体調の方は、かかりつけ医に相談してからパワーツールを使用してください。

ベースメーカー着用者向けの注意点：本機のイグニッションシステムは微弱な電磁界を発生します。その電磁界がベースメーカーに干渉する場合があります。健康上のリスクを軽減するために、STIHL 社ではベースメーカー着用者にはかかりつけ医とベースメーカーの製造元に相談してから本機を使用することをお勧めしています。

視力を低下させたり、動作や判断を鈍らせたりするおそれがある物（薬物、アルコール）を服用した状態では、パワーツールを使用しないでください。

2.3 用途

ブローワーは、庭、スポーツスタジアム、駐車場、道路等に散在する葉、草、紙等の異物を噴気で掃除する目的用に設計されています。森林の小道を掃除する目的にも適しています。

噴気で危険物を掃除しないでください。

事故が発生し、機械が損傷する危険が増すため、本機を本来の目的以外には使用しないでください。いかなる方法であれ本製品を改造しないでください - 改造も事故や本機の損傷につながるおそれがあります。

2.4 衣服と装備

適切な防護服と装備を身に付けてください。



丈夫な素材で、身体の動きを一切制限しない衣服を着用してください。作業用のコートではなく、身体にぴったりしたオーバーオールと上着を組み合わせ合わせた安全作業服を着用してください。



スカーフ、ネクタイ、装身具など、空気吸引部に入り込むようなものは、身につけないでください。機械に吸い込まれないよう、長髪は結び、肩の上でまとめてください。

靴底が滑らず、頑強な作りの靴を履いてください。



警告



目を負傷する危険を低減するために、European Standard (欧州基準) EN 166 に準拠した、確実にフィットする保護メガネを着用してください。保護メガネが適切にフィットしていることを確認してください。

「個人」用のイヤープロテクター（例えばイヤーマフ）を着用してください。

STIHL 社では、さまざまな防護服や防護装備を取り揃えております。

2.5 機械の運搬

必ずエンジンを切ってください。

車両輸送：

– 転倒、損傷、燃料漏れが生じないように機械を固定してください。

2.6 給油



ガソリンは可燃性が極めて高い液体です - 火気を近付けないでください - 燃料をこぼさないでください - 喫煙しないでください。

必ずエンジンを切ってから給油してください。

エンジンが高温のときは給油しないでください - **燃料がこぼれ、火災が生じる危険があります。**

必ずパワーツールを背中から地面に降ろしてから給油してください。必ず本機を地面に立てた状態で給油してください。

タンク内の高圧が徐々に抜け、燃料が噴き出さなくなるよう、燃料キャップは慎重に開けてください。

必ず換気の良い場所で給油してください。本機に燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください - 衣服に付いた場合は、速やかに着替えてください。



燃料が漏れていないか点検してください！燃料がこぼれたり、漏れたりしている場合は、絶対にエンジンを始動しないでください。致命的な火傷を負う危険があります！

燃料タンクキャップ

スクリュー式燃料キャップは、絶対に工具を使用して開閉しないでください。キャップが破損し、燃料が漏れ出すおそれがあります。



給油後は、スクリュー式燃料キャップをできるだけしっかりと閉めてください。

2.7 作業開始前

機械が正しく組み立てられ、良好な状態になっているか確認します - 本取扱説明書の関連項目を参照してください：

- 燃料システム、特に燃料タンクキャップ、ホースコネクター、手動燃料ポンプ(手動燃料ポンプ付きの機械のみ)等の目視が可能な部品が漏れていないか点検します。漏れや損傷が生じている場合は、エンジンを始動しないでください。火災が起きる危険があります！サービス店で機械を修理してから再使用してください。
- スロットルトリガーはスムーズに作動し、放すとアイドル位置に戻らなければなりません。
- 調整レバーは、容易に STOP または 0 に移動できなければなりません
- ブローチューブは、適切に組み立てる必要があります
- ハンドルは乾いた清潔な状態(オイルや汚れが付着していない状態)に保ちます。この点は、機械を安全に操作するために重要です。
- スパークプラグターミナルがしっかりと差し込まれているか点検します。緩んでいる場合は火花が発生し、可燃性のガスに引火し、火災が発生するおそれがあります！
- 絶対に操作部や安全装置を改造しないでください。
- ブローハウジングの状態を確認します

- ハーネスストラップの状態を確認し、ストラップに損傷または摩耗がある場合は交換してください

ブローハウジングに摩耗(亀裂、傷、欠け)が生じていると、異物が飛散してケガをする危険が高まることがあります。ブローハウジングが損傷したときは、サービス店にご相談ください。STIHL 社では、STIHL サービス店にお問い合わせいただくことをお勧めしております

事故とケガの危険を低減するために、適切に組み立てられていない機械や良好な状態でない機械は使用しないでください！

緊急の場合：速やかに肩掛けベルトを緩めて本機を背中から降ろす練習をします。

2.8 エンジンの始動

給油場所から 3 m 以上離れた場所でエンジンを始動します。屋外に限ります。

本パワーツールは、一人で操作するように設計されています。作業エリアには、始動時であっても第三者を入れないでください。

エンジンの落としがけをしないでください。正しい始動手順は、取扱説明書に記載されています。

機械を平坦な地面に置き、足場が安定していることを確認し、機械をしっかりと保持します。

エンジンが始動するとすぐに噴気の強さが増し、細かな異物(石等)が作業者に吹き付けられることがあります。

2.9 作業時

差し迫った危険や緊急の場合、調整レバーを STOP または 0 に動かして、速やかにエンジンを停止します。



飛散物によりケガをしないよう、作業員以外が半径 15m 以内に立ち入らないようにしてください。

この距離は、物体(車両、窓ガラスなど)に対しても維持する必要があります。物的損害が生じる危険があります！



絶対にブローの吹き出し口を人や動物に向けしないでください。ブローから小さな物体が高速で飛散する危険があります。ケガをする危険があります。

ブローを使用した(空地や庭の)清掃中は、小動物に害を及ぼさないよう注意してください。

作動させたまま絶対に本機から離れないでください。

滑りやすい表面、水、雪、氷、斜面、凹凸のある地面 - 滑る危険性！

障害物に注意：廃棄物、切り株、根、溝等の**つまずきそうな障害物**に注意してください

はしご上や不安定な場所では作業を行わないでください。

イヤープロテクターを着用している場合は、危険を告げる声(叫び声、警笛等)が聞こえにくくなるため、通常よりもさらに注意が必要です。

冷静かつ慎重に作業を行ってください。日中の視界が十分なき以外は作業を行わないでください。慎重に作業を進め、他者に危険が及ばないように配慮してください。

疲労を感じたときは休憩を取ってください。そうしないと**事故が起こるおそれがあります！**

触媒コンバータ付きマフラーは、特に高温になります。



エンジンが始動するとすぐに、機械から**有毒な排気ガス**が発生します。排気ガスは無臭で目に見えない場合があり、未燃焼の炭化水素とベンゼンが含まれているおそれがあります。屋内や換気状態の悪い場所では、絶対にエンジンをかけないでください。触媒コンバータが装着されている機種でも同様です。

有毒ガスを吸い込んで重症または致命傷を負う危険を低減するために、溝、くぼ地、他の狭い場所での作業時は、適切に換気してください。

吐き気、頭痛、視覚障害(視野狭窄等)、聴覚障害、めまい、注意散漫が生じた場合は、直ちに作業を中止してください。濃度が非常に高い排気ガスを吸い込むと、そうした症状が現れる場合があります。**事故が生じるおそれがあります！**

火災の危険を低減するために、作業中や機械の付近では喫煙は避けてください。燃料システムから可燃性の気化燃料が漏れ出すおそれがあります。

塵埃が発生する場合は、かならず防塵マスクを着用してください。

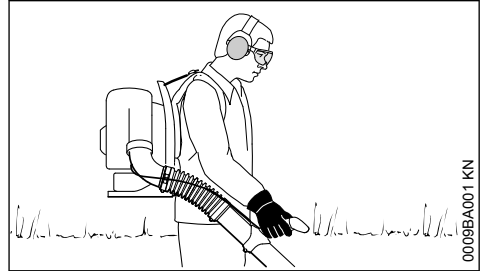
機械は、騒音と排気ガスの発生が最小限になるように操作してください - 不必要にエンジンをふかさず、作業時のみエンジンを加速してください。

作業完了後は、可燃物のない平らな面に本機を置きます。燃えやすい物(木片、樹皮、枯草、燃料等)の近くに本機を置かないでください。**火災が生じる危険があります！**

機械に設計強度を超える負荷がかかった(例えば、強い衝撃が加わったか、落下した)場合は、必ず機械が正常かどうか確認してから作業を続行してください - 「作業開始前」も参照してください。特に燃料システムが漏れていないか点検

し、安全装置が完全に作動しているか確認してください。パワーツールが損傷している場合は、作業を続けしないでください。ご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。

2.10 ブロワーの使用法



本機械は背負い式です。コントロールハンドルを右手で握ってブロワーチューブを保持し、操作します。

前進しながらゆっくりと作業を進めます - ブロワーチューブの吹き出し口を常に観察します - 後退はしないでください - **つまずく危険があります！**

必ずエンジンを切ってから本機を背中から降ろしてください。

2.11 作業方法

清掃時間を短縮するために、清掃作業を開始する前に、熊手や箒でゴミを除去しやすくしておきます。

- 必要に応じて、掃除する範囲の表面に水を撒き、埃が立ちすぎないようにします。
- 見物人(特に子ども)、ペット、開いている窓、洗車したばかりの自動車の方向にゴミを吹付けないようにしてください。それらの状況では、特に注意してください。
- 吹き寄せたゴミは、ゴミ箱に捨てます - 隣人の敷地に吹き出したりしないでください。
- 本機は、他の人に迷惑がかかることのある早朝、深夜、昼食休憩時間などを避け、道理がなかつた時間帯にご使用ください。地域の休憩間隔に関する規制を順守してください。
- 作業実施に必要な最低限度のエンジン回転数で、ブロワーをご使用ください。
- 作業開始前にお使いのブロワーの状態を点検します。特にマフラー、エアー インテークおよびエアー フィルターに注意してください。

2.12 振動

パワーツールを長時間使用した場合には、振動の影響により手の血行不良が生じることがあります(「白ろろ病」)。

以下をはじめ、多くの事柄が影響するため、一般的な使用時間の設定は不可能です。

以下の対策をとると使用時間を延長できます：

- 常に手を温めておく
- 休憩を取りながら作業する

以下の場合には使用時間を短くします：

- 血行不良の特殊体質(症状：指がよく冷たくなる、しびれ)。
- 低い外気温。
- 握む力の強さ(強く握りしめると、血行が低下します)。

機械を規則的に長時間使用したり、該当する症状(指のしびれ等)が繰り返し発症する時は、医師による診断をお薦めします。上記のいずれかの症状が現れたら(指が疼くなど)、医師にご相談ください。

2.13 整備と修理

定期的に本機を整備してください。取扱説明書に書かれている整備や修理だけを行ってください。その他すべての作業はスチール サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店にのみ依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。これに関して、不明な方はスチール サービス店へお問い合わせください。

当社ではスチール純正交換部品のご使用をお勧めします。これらは、お客様の機種およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

ケガの危険を回避するために、本機の保守、修理、または掃除を実行する前に、**エンジンを必ず切ってください**。- 例外：キャブレター及びアイドリング回転数の調整時は例外です。

スパークプラグターミナルまたはスパークプラグを外した状態で、スターターを作動しないでください。火花を抑制できずに**火災が発生する可能性があります**。

火気の近くで、本機を整備したり、保管しないでください。

燃料フィルター キャップにもれがないか定期的に点検してください。

当社で承認されたタイプで、支障なく作動するスパークプラグだけを使用してください(「技術仕様」の項を参照)。

イグニッション ケーブルに異常がないこと(良好な絶縁状態、接続の確実性)を確認してください。

マフラーに異常が無いことを確認してください。

火災の危険や聴覚障害を避けるために、破損したマフラーを取付けたまま、あるいはマフラーがないまま作業しないでください。

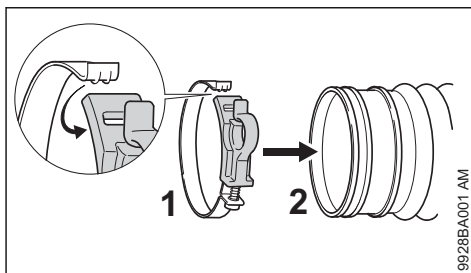
高温のマフラーに触れて、火傷しないようにしてください。

振動の強さは、防振部品の状況に左右されます - 定期的な防振部品を点検してください。

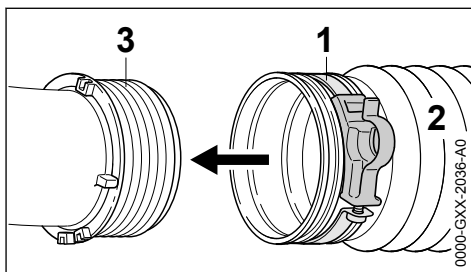
問題を解消しようとする前に、エンジンを停止してください。

3 運転準備

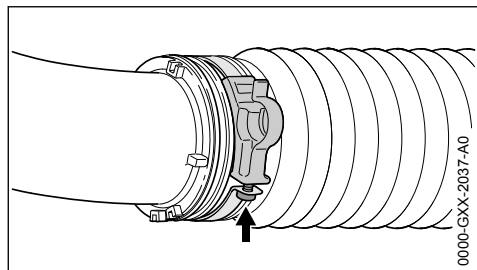
3.1 蛇腹ホースのエルボーへの取り付け



- ▶ ホースクランプ□(1)を開き、蛇腹ホース□(2)に取り付けます。
- ▶ タブを溝にかみ合わせます

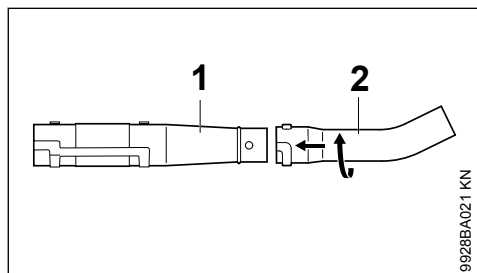


- ▶ 蛇腹ホース(2)をスリップリング(3)にかませ、止まるまで押し込みます
- ▶ ホースクランプ(1)とスリップリング(3)の位置を合わせます(図を参照)

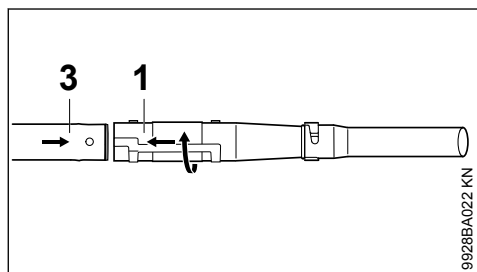


- ▶ スクリュー (矢印) を締め付けます

3.2 ブローチューブとノズルの取り付け

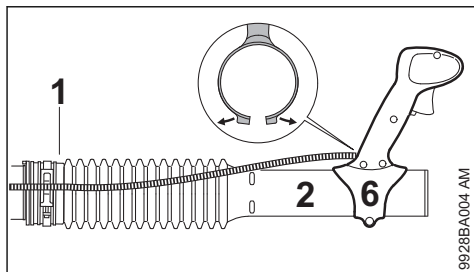


- ▶ ブローチューブ (1) とノズル (2) を接続します



- ▶ ブローチューブ (1) とチューブ (3) を接続します

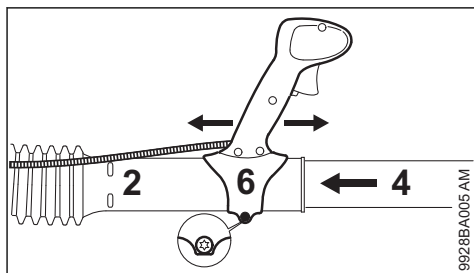
3.3 コントロールハンドルの取り付け



- ▶ コントロール・ハンドル (6) のクランプの端を引き離し、ブリーツ・ホース (2) のコネクタに押し込みます
- ▶ スロットルケーブルをホースクランプ (1) のリテイナーに取り付けます

3.4 コントロールハンドルの調整

- ▶ 機械を背負い、ハーネスを調整します - 「ハーネスの取り付け」を参照してください。

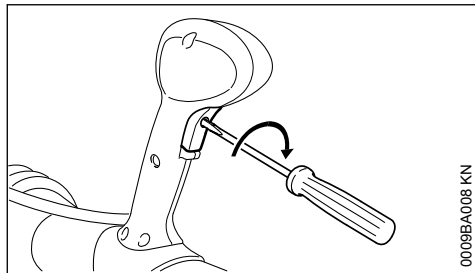


- ▶ ブローチューブ (4) をブリーツホース (2) のコネクタに押し込み、奥まで押し込む
- ▶ コントロールハンドル (6) をチューブに沿って移動させ、最も使いやすい位置に合わせます
- ▶ コントロールハンドル (6) のスクリューを締め付けます

4 スロットルケーブルの調整

本機の組み立ておよび長期間の運転後に、スロットルケーブルの調整が必要になる場合があります。

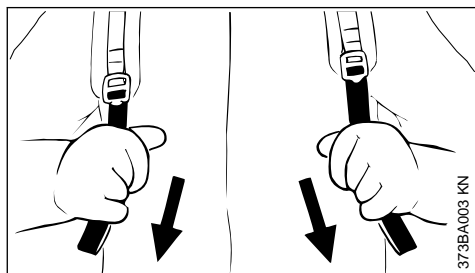
本機が完全に適正に組み立てられた後に、スロットルケーブルを調整してください。



- ▶ スロットルトリガーをフルスロットル位置で、止まるまで開きます。
- ▶ スロットルトリガーのスクリューを、最初に手ごたえを感じるまで慎重に矢印の方向に回します。その後、さらに1回転回します。

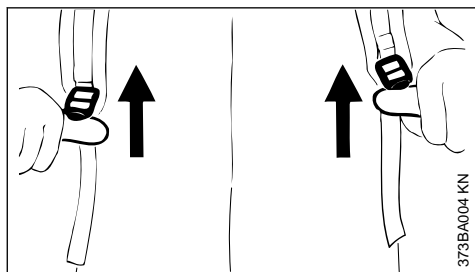
5 ハーネスの取付け

5.1 ハーネスの調整



- ▶ ストラップを下に引いてハーネスを締める

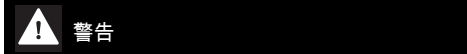
5.2 ハーネスの緩み



- ▶ スライディングアジャスタのロックを持ち上げます。
- ▶ ハーネスを調整して、バックプレートが背中にぴったりと合い、安定するようにします

6 燃料

エンジンには、ガソリンとエンジンオイルの混合燃料が必要です。



健康に害が及ぶため、ガソリンに直接触れたり、気化したガソリンを吸い込んだりしないでください。

6.1 STIHL モトミックス (MotoMix)

STIHL 社は、STIHL モトミックス (MotoMix) の使用をお勧めしています。すぐに使用可能なこの混合燃料はベンゼンや鉛を含まず、高オクタン価です。この燃料を使用すると、常に適正な混合比率を維持することができます。

STIHL モトミックス (MotoMix) には、エンジンをさらに長寿命化する STIHL HP ウルトラ 2 ストロークエンジンオイルが使用されています。

STIHL モトミックス (MotoMix) が販売されていない市場もあります。

6.2 燃料の混合

注記

規定以外の不適切な燃料/オイルを使用するか、規定以外の混合比率を用いると、エンジンに重度の損傷が生じることがあります。低品質のガソリンあるいはエンジンオイルは、エンジン、シーリングリング、ホース、燃料タンクを損傷させることがあります。

6.2.1 ガソリン

オクタン価が 90 以上の高品質ブランドのガソリンだけを使用してください - 無鉛、有鉛は問いません。

エタノール濃度が 10% 以上のガソリンは、手動調整が可能なキャブレター付きエンジンで作動関連の不具合を引き起こすことがあるため、そうしたエンジンには使用しないでください。

M-Tronic 搭載エンジンは、エタノール濃度が 25% までのガソリン (E25) で最大出力を発揮できます。

6.2.2 エンジンオイル

ご自身で燃料を混合する場合は、STIHL 製 2 ストロークエンジンオイルのみを使用するか、次の仕様を満たす他の高性能エンジンオイルを使用してください: JASO FB、JASO FC、JASO FD、ISO-L-EGB、ISO-L-EGC、または ISO-L-EGD。

機械の耐用年数にわたって排気ガスが規制の限度値を超えないよう、STIHL 社は STIHL HP ウルトラ 2 ストロークエンジンオイルの使用をお勧めしています。

6.2.3 混合比率

50:1 (STIHL 2 サイクルエンジンオイルの場合):
50 : 1 = ガソリン 50 に対してオイル 1

6.2.4 例

ガソリン	STIHL エンジンオイル (比率 50 : 1)	
リットル	リットル	(ml)
1	0.02	(20)
5	0.10	(100)
10	0.20	(200)
15	0.30	(300)
20	0.40	(400)
25	0.50	(500)

- ▶ 燃料の保管には承認された容器を使用してください。燃料容器にまずオイルを入れてからガソリンを入れ、十分に混ぜ合わせます。

6.3 燃料の保管

燃料は承認された安全タイプの燃料容器に入れ、照明や太陽光から保護された、涼しく安全で乾燥した場所に保管してください。

混合燃料は劣化します - 数週間で使い切る分だけを混合してください。混合燃料を 30 日以上保管しないでください。照明、太陽光、高低温にさらすと、混合燃料は短期間で使用できなくなる場合があります。

STIHL モトミックスは、問題なく最長 2 年間保管することができます。

- ▶ 給油する前に混合燃料の入った携行缶をよく振ってください。



警告

携行缶内で圧力が生じている可能性があるため、キャップは慎重に開けてください。

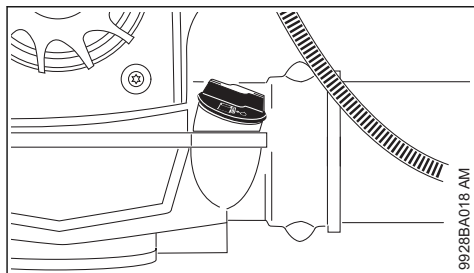
- ▶ 燃料タンクと携行缶は、時々十分に洗浄してください。

残ったガソリンと洗浄に使用した液体は、その地域の規定と環境要件に従って適切に処理してください。

7 給油

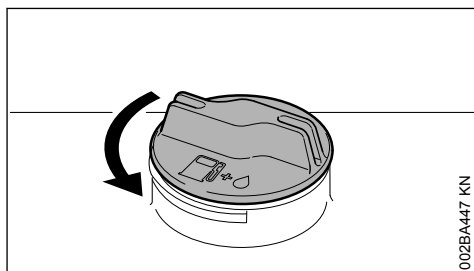


7.1 準備



- ▶ 給油する前に、汚れがタンクの中に入るのを防ぐため、フィルター キャップとその周りをきれいにしてください。

7.2 スクリュータイプのタンク キャップを開ける

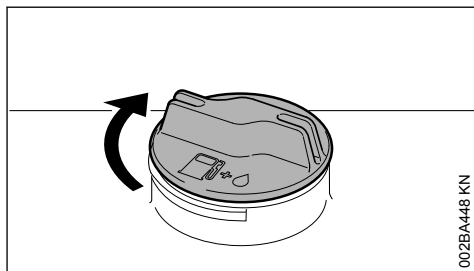


- ▶ キャップを反時計回りに、キャップをタンクの開口部から外すことができるまで回します。
- ▶ キャップを外します。

7.3 燃料の補填

給油の際には燃料をこぼしたり、あふれさせないでください。当社ではスチール フィラー ノズル (特殊アクセサリ) の使用をお勧めします。

7.4 スクリュータイプのタンク キャップを閉める



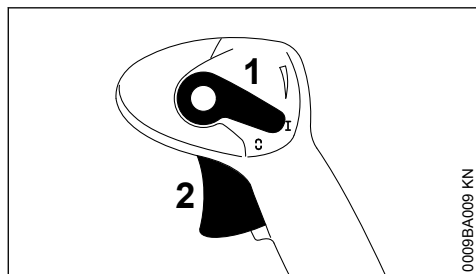
- ▶ 開口部にキャップを置きます。
- ▶ キャップを時計回りに、止まるまで回します。手でできる限りしっかりと締め付けます。

8 始動前の注意事項

注記

エンジンを停止し、始動する前にバックプレートとパワーヘッドの間にある吸気口が詰まっていないかチェックし、必要な場合は掃除します。

8.1 調整レバーの機能



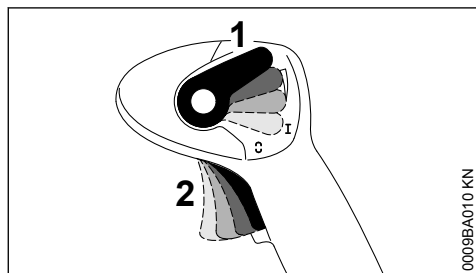
運転位置 I

エンジンが作動中または始動可能です。スロットルトリガー(2)は、任意の位置に動かすことができます。

エンジンのスイッチの停止 0

イグニッションが中断され、エンジンが停止します。調整レバー(1)は、この位置ではロックされません。レバーは、運転位置 I に跳ね返って戻ります。イグニッションは再度オンになります。

固定スロットル



スロットルトリガー(2)は、調整レバー(1)を操作することで、任意の位置でロックすることができます。

ロックの解除方法：

- ▶ 調整レバー(1)を運転位置 I に戻します。

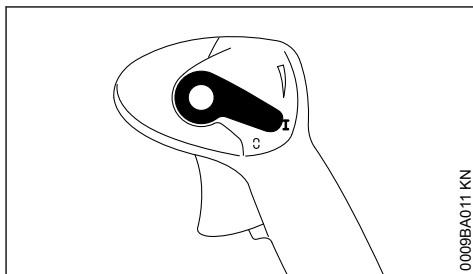
9 エンジンの始動と停止

9.1 エンジンの始動

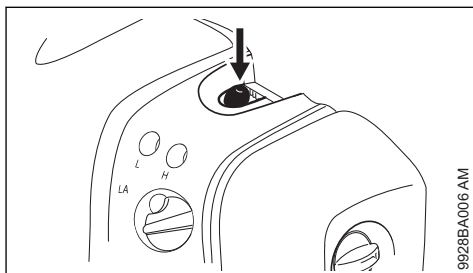
- ▶ 安全注意事項を守ってください。

注記

ほこりを吸引しないように、表面が清潔でほこりがない場所で本機を始動します。

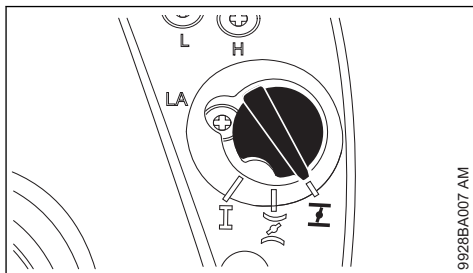


- ▶ 調整レバーを運転位置 I に移動します。



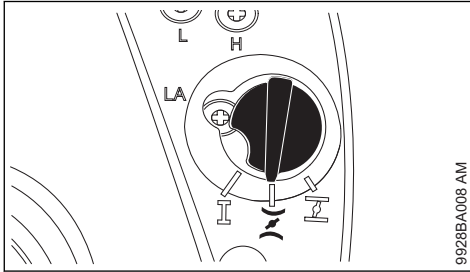
- ▶ 手動燃料ポンプを最低 5 回押してください - ポンプに燃料が充填されている場合でも、同様の操作を行います。

冷機エンジン (冷機スタート)



- ▶ チョークノブを I の位置に回します。

暖機エンジン (暖機スタート)



▶ チョーク ノブを **I** の位置に動かします。

エンジンの始動後、温まりきっていない場合もこの位置に移動します。

始動



- ▶ 本機を地面にしっかりと置き、第三者がノズル吐出口の方向にいないことを確認します。
- ▶ 安定した足場を保ちます。本機のハンドルを左手でしっかりと握り、片足をベースプレートに乗せて滑らないようにします。
- ▶ 右手でスターター グリップをゆっくり引き、かみ合った感じがした時に、素早く勢い良くグリップを引っ張ります。スターター ロープは最後まで引っ張らないでください - **切れることがあります。**
- ▶ スターター グリップを急に放さないでください。手を添えてハウジングにゆっくりと巻き込むとスターター ロープは正しく巻き込まれます。

▶ エンジンがかかるまで始動操作を続けます。

9.2 始動に関するその他の注意事項

9.2.1 チョークノブが **I** の位置にあるかまたは加速中に、エンジンが停止した場合

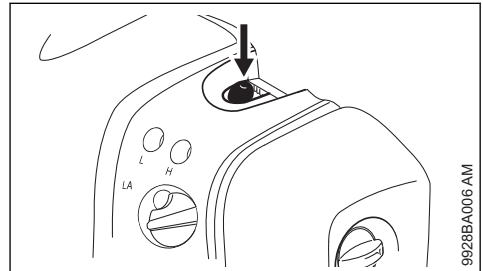
▶ チョークノブを **I** に移動して、エンジンがかかるまで始動動作を繰り返します。

9.2.2 エンジンがかからない場合

▶ 全ての設定が正しいこと (チョークノブ、調整レバーが運転位置 **I** にある) を確認します。

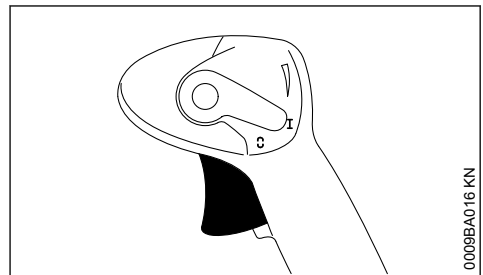
▶ 始動手順を繰り返します。

9.2.3 燃料タンクが空になるまで運転してから再給油した場合

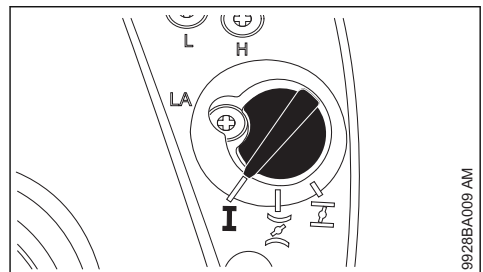


▶ 手動燃料ポンプを最低 5 回押してください - ポンプに燃料が充填されている場合でも、同様の操作を行います。

9.3 エンジンがかかったらすぐに



▶ スロットルトリガーを操作します。

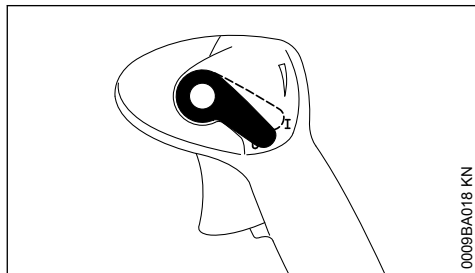


- ▶ スロットルトリガーを操作すると、チョークノブが自動的に運転位置 I に戻ります。

9.3.1 外気温度が極めて低いとき

- ▶ スロットルトリガーを少し開いてしばらくエンジン回転を上げ、エンジンを暖めます。

9.4 エンジンの停止



0009BA018 KN

- ▶ 調整レバーを \odot の方向に動かします - エンジンが停止して、調整レバーが「オン」位置に戻ります。

10 作業中の注意事項

10.1 作業中

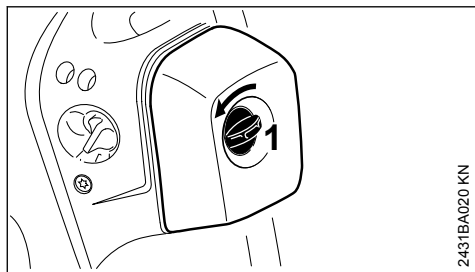
長時間のフル スロットル運転後は、しばらくの間アイドリングしてエンジンの熱を冷却風で放熱してください。これにより、エンジンに組み込まれている部品 (イグニッションやキャブレター) を熱から守ることができます。

10.2 作業後

短期間使用しない場合: エンジンが冷えるまで待ちます。次の使用時まで、火気のない乾燥した状態で保管します。長期間にわたって使用しない場合は、「機械の保管」を参照してください。

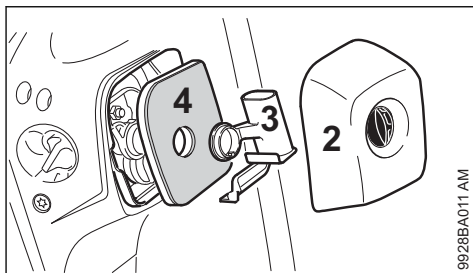
11 エアフィルターの掃除

11.1 エンジンの出力が著しく低下した場合



2431BA020 KN

- ▶ フィルター カバー ロック (1) を、垂直位置まで反時計回りに回します。



9928BA011 AM

- ▶ フィルター カバー (2) を取り外します。
- ▶ フィルターの周りに付着した汚れを取り除きます。
- ▶ アダプター (3) を引き出して、フィルター (4) を取り外します。
- ▶ 新しいフィルター エレメントを取り付けます。補助的な方法として、手の平で叩くか、エアで汚れを吹き飛ばします。洗わないでください。

損傷した部品は交換してください。

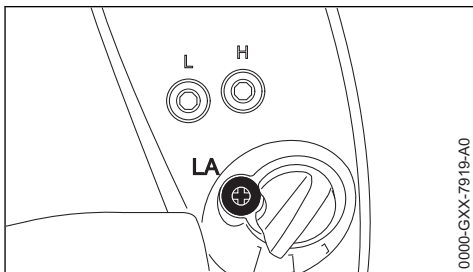
11.2 フィルター エレメントを取り付けます。

- ▶ フィルターをフィルター ハウジングに取り付け、リテーナーを所定の位置に押し込みます。
- ▶ フィルター カバーを再び取り付け、フィルター カバー ロックを水平位置まで回します。

12 キャブレターの調整

キャブレターは、大抵の運転条件下で混合気が最適化されるよう工場出荷時に設定されています。

12.1 アイドリング回転数の調整



0000-GXX-7919-A0

12.1.1 アイドリング回転中にエンジンがストールする

- ▶ エンジンが滑らかに作動するまでアイドリング回転数調整スクリュー (LA) を時計回りに回します。

13 触媒コンバータ

触媒コンバータ付きパワーツール(機種による)の場合、**無鉛ガソリンとスチール2サイクルエンジンオイル**または同等の2サイクルエンジンオイルの50:1の混合比率で、運転してください。「燃料」の章を参照してください。

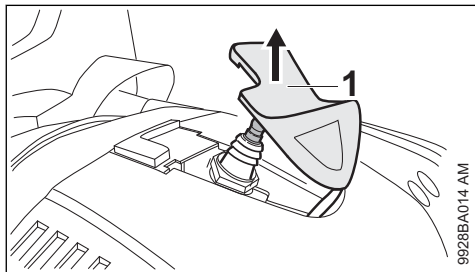
マフラーに一体化された触媒コンバータは、排気中の有害物質の放出を低減します。

キャブレターを正しく調整し(調整できる場合)、ガソリンと2サイクルエンジンオイルの前記の混合比率を厳密に順守することで、有害な排気を最小限に抑え、触媒コンバータの寿命を延ばすことができます。

14 スパークプラグ

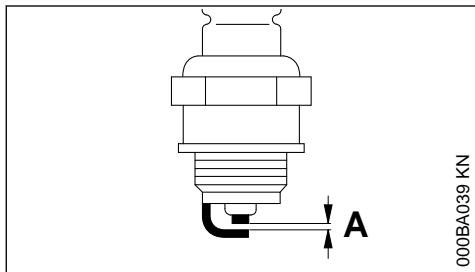
- ▶ エンジンの出力が低下したり、始動しにくくなったりアイドリングが不安定になったら、先ずスパークプラグを点検してください。
- ▶ 約100時間運転後には新品のスパークプラグと交換してください - 電極が極度に焼損している場合はそれよりも早く交換してください。スチール社が承認した、雑音防止スパークプラグのみをご使用ください - 「技術仕様」の項を参照してください。

14.1 スパークプラグの取り外し



- ▶ スパークプラグターミナル(1)を抜き取ります。
- ▶ スパークプラグを緩めます。

14.2 スパークプラグの点検

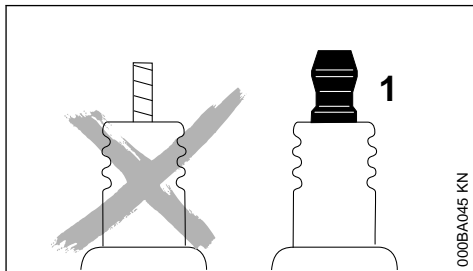


- ▶ 汚れたスパークプラグをきれいにします。

- ▶ 電極ギャップ(A)を点検して、必要な場合は調整します - 数値は「技術仕様」の項を参照してください。
- ▶ 以下のような、スパークプラグが汚れる原因を排除してください。

原因:

- エンジンオイル混合量の過多
- エアフィルター汚れ
- 劣悪な使用環境



アダプターナット(1)が緩んでいるか、外れている場合はアークが発生することがあります。発火または爆発が起きやすい環境下で作業を行うと、実際の火災または爆発が発生する恐れがあります。この場合、作業員が重傷を負ったり、建物に損傷を与えたりする可能性があります。

- ▶ 抵抗入タイプのスパークプラグを使用し、アダプターナットをしっかりと締め付けてください。

14.3 スパークプラグの取り付け

- ▶ スパークプラグを座位にねじ込み、ターミナルをしっかりと押し込んで取り付けます。

15 エンジンの動作

エアフィルターを掃除してキャブレターを適切に調整しても、エンジンの動作が不十分な場合は、マフラーが原因の可能性もあります。

マフラーが汚れていないか(カーボンで詰まる)、スチールサービス店で点検してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチールサービス店のみ依頼されることをお勧めします。

16 機械の保管

3ヶ月以上の場合

- ▶ 換気の良い場所で燃料タンクを空にし、洗浄します。
- ▶ 燃料は、地域の環境規制条件通りに処理してください。

- ▶ エンジンを運転してキャブレター内の燃料を空にしてください - キャブレターのダイヤフラムの固着を防ぐうえで、有効です。
- ▶ 機械を丁寧に掃除します - 特にシリンダーフィンとエアフィルターに注意します。
- ▶ 機械を乾いた、高所または鍵の掛かる場所に保管してください - 子供などによる許可外の使用を避けてください。

17 整備表

以下の整備周期は、標準的な作業条件用です。毎日の作業時間が長いか、作業条件が過酷な場合(ほこりが極端に多い場所など)は、指定された間隔をそれに応じて短縮してください。		前 作 業 後	日 毎 は た た ま ま 作 業 後	毎 週 毎 週 毎 週	毎 月	毎 12 カ 月	故 障 時	損 傷 時	合 計 必 要 な 場 合
機械本体	目視検査(状態と漏れ)	X		X					
	掃除		X						
コントロールハンドル	作動検査	X		X					
エアフィルター	掃除						X		
	交換							X	
手動燃料ポンプ	点検	X							
	修理はサービス店 ¹⁾ に依頼してください。							X	
燃料タンク内のピックアップボディ	点検はサービス店 ¹⁾ に依頼してください。						X		
	交換はサービス店 ¹⁾ に依頼してください。					X			X
燃料タンク	掃除				X				
キャブレター	アイドリング調整の点検	X		X					
	アイドリング調整								X
スパークプラグ	電極ギャップの調整						X		
	100 運転時間毎に交換								
冷却風吸入部	目視検査		X						
	掃除								X
すべてのスクリューとナット(調整スクリューを除く)	締め直し								X
防振エレメント	点検	X					X		X
	交換はサービス店 ¹⁾ に依頼してください。							X	
ブロワーの吸気ロスクリーン	点検	X		X					
	掃除								X
スロットルケーブル	調整								X
安全ラベル	交換							X	

1)STIHL 社では、STIHL 正規サービス店の利用をお勧めしています。

18 磨耗の低減と損傷の回避

本取扱説明書の記述を遵守して使用すると、機械の過度の磨耗や損傷が回避されます。

本機の使用、整備並びに保管は、本取扱説明書の記述に従って入念に行ってください。

特に以下の場合のように、安全に関する注意事項、取扱説明書の記述内容及び警告事項に従わずに使用したことに起因する全ての損傷については、ユーザーが責任を負います：

- スチールが許可していない製品の改造。
- 当製品への適用が承認されていない、適していない、または低品質のツールやアクセサリを使用。
- 指定外の目的に当製品を使用。
- スポーツ或いは競技等の催し物に当製品を使用。
- 損傷部品を装備したままで当製品を使用したことから生じる派生的損傷。

18.1 整備作業

「整備表」に列記されている作業は、必ず全て定期的に行ってください。整備作業を使用者が自ら行えない場合は、サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

上記整備作業を怠ったことが原因で生じた以下のような損傷に対しては、上記の例として、以下の部品が挙げられます：

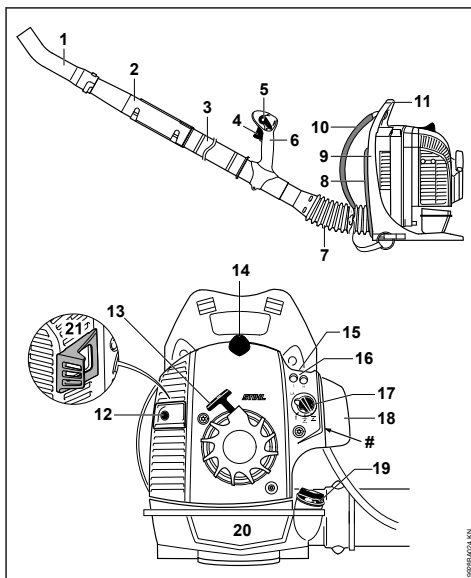
- 指定された時期に実施されなかった整備や不十分な整備(例：エア フィルター、燃料フィルター)、不適切なキャブレターの調整または不十分な冷却空気経路の掃除(エア吸入スリット、シリンダー フィン)が原因で生じたエンジンの損傷。
- 不適切な保管に起因する腐食およびその他の派生的損傷。
- 低品質の交換部品を使用したことによる本機の損傷。

18.2 摩耗部品

パワーツールの部品によっては、規定どおりに使用しても通常の摩耗は避けられません。これらの部品は、使用の種類や期間に合わせて適時に交換してください。上記の例として、以下の部品が挙げられます：

- フィルター(エア フィルター、燃料フィルター)
- リwind スターター
- スパーク プラグ
- 防振システムのダンパー エレメント

19 主要構成部品



- 1 ノズル、カーブ型
- 2 ブローチューブ
- 3 ブローチューブ
- 4 スロットルトリガー
- 5 調整レバー
- 6 コントロールハンドル
- 7 蛇腹ホース
- 8 バックパッド
- 9 バックプレート
- 10 ハーネス
- 11 キャリングハンドル
- 12 マフラー
- 13 スターターグリッブ
- 14 スパークプラグターミナル
- 15 手動燃料ポンプ
- 16 キャブレター調整スクリュー
- 17 チョークノブ
- 18 フィルターカバー
- 19 タンクキャップ
- 20 燃料タンク
- 21 スペーサー 1)
- # 機械番号

20 技術仕様

20.1 エンジン

単気筒 2 ストロークエンジン

排気量:	27.2cm ³
シリンダー径:	34 mm
ピストンストローク:	30 mm
アイドリング回転数:	2500 rpm
ISO 7293 に準拠したエンジン出力:	0.8 kW (1.1 HP)

20.2 イグニッションシステム

エレクトロニクスマグネットイグニッション

スパークプラグ(雑音防止):	NGK CMR 6 H, BOSCH USR 4AC
電極ギャップ:	0.5 mm

20.3 燃料システム

燃料ポンプ付き全方向ダイヤフラム式キャブレター

燃料タンク容量:	1050 cm ³ (1.05 l)
----------	-------------------------------

20.4 プロワー性能

吹き出し力:	12 N
風速:	56 m/s
風量:	680 m ³ /h
最大風速**	67 m/s
プロワーチューブ非装着時の最大風量:	800 m ³ /h

20.5 重量

燃料なし:	5.8 kg
-------	--------

20.6 音圧・騒音・振動数値

音圧・音響・振動数値は、アイドリング回転数と最大定格回転数の比率 1:6 で測定したものです。

振動に関する指令 2002/44/EC の遵守の詳細については、www.stihl.com/vib をご覧ください。

20.7 DIN EN 15503:2010 による音圧レベル L_{peq}

96 dB(A)

20.8 DIN EN 15503:2010 による音響出力レベル L_{weq}

103 dB(A)

20.9 DIN EN 15503:2010 による振動加速度 $a_{hv,eq}$

ハンドル:	3.0 m/s ²
-------	----------------------

指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、音圧レベルおよび音響出力レベルについて 2.0 dB(A) です。

指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、振動加速度について 2.0 m/s² です。

20.10 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (CHemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation)、規制を意味します。

REACH 規定 (EC) No. 1907/2006 の遵守の詳細については www.stihl.com/reach をご覧ください。

20.11 排気ガス

EU 型式認定手順に従って測定した CO₂ 値は、www.stihl.com/co2 に記載されています。

CO₂ 測定値は、代表的なエンジンを実験室で標準的な試験手順に従って測定した結果であり、特定のエンジンの性能を明示的、暗示的に保証する数値ではありません。

適用される排気ガス規制の要件は、本書に記載されている方法で機械を使用し、整備することによって満たされます。型式認定は、エンジンを改造すると無効になります。

21 整備と修理

本機を使用する方が実施できる保守および整備作業は、本取扱説明書に記述されていることだけです。それ以外の修理はすべてサービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみ依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

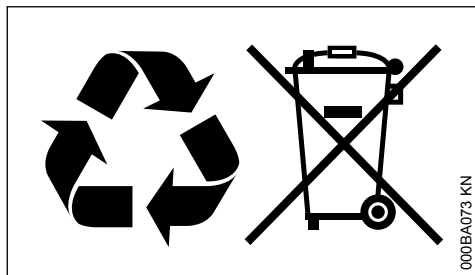
修理時には、当社が本機への使用を承認した、または技術的に同等な交換部品だけをご使用ください。高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

当社ではスチール オリジナルの交換部品のご使用をお勧めします。

スチール純正部品には、スチール部品番号、**STIHL** ロゴマークおよびスチール部品シンボルマーク **G** が刻印されています。(小さな部品では、シンボルマークだけが刻印されているものもあります。)

22 廃棄

国別の廃棄の規則および規制を順守してください。



スチール製品は、家庭用ごみ入れに廃棄しないでください。製品、アクセサリ、包装は、環境に配慮してリサイクルを行うため、認可された廃棄場に持ち込んでください。

廃棄物処理の最新情報については、スチール サービス店へお問い合わせください。

Waiblingenにて発行、2020年02月03日

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人

Dr. Jürgen Hoffmann

Head of Product Data, Regulations and Licensing (製品データ・規制・認可部長)

CE

23 EC 適合証明書

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

Badstr. 115

D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、独占的な責任下で下記の製品が

名称：	ブロー
メーカー名：	STIHL
型式：	BR 200
シリーズ番号：	4241
排気量：	27.2 cm ³

指令 2011/65/EU、2006/42/EC、2014/30/EU および 2000/14/EC の関連する条項に適合しており、製造の時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して開発および製造されたことを保証いたします：

EN ISO 12100、EN 15503、EN 55012、
EN 61000-6-1

音響出力レベルは、測定値および確保数値共に 2000/14/EC の付録 V と ISO 11094 基準に準拠しています。

音響出力レベル測定値

103 dB(A)

音響出力レベル保証値

105 dB(A)

技術資料の保管場所：

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Produktzulassung

製品の製造年と機械番号は、機械本体に表示されています。

www.stihl.com



0458-455-4321-D



0458-455-4321-D